



RI第2530地区 県北第1分区 2016-2017年度

福島南ロータリークラブ会報



RI会長 ジョンF.ジャーム テーマ「人類に奉仕するロータリー」

RI第2530地区ガバナー 佐久間 英一

福島南ロータリークラブ 会長 佐久間 功 幹事 横山 りつ子
目標「明るく、元気に広がる奉仕の輪」

平成28年

10月12日(水)

例会場：福島サンパレス

第14回 例会

会員/75名 出席/51名 出席率/68.00%

メイクアップ/24名 修正/75名 修正率/100.0%

2016-2017年度 福島南ロータリークラブ会長

会長挨拶 会長 佐久間 功



このところ、朝夕の冷え込みが体に凍みる季節になりました。吾妻山の初冠雪の便りももうすぐかなと感じられますが、紅葉は見ごろになったようです。皆様もお出かけになられたら如何ですか。

先週の7日には、二本松市に於いて、県北第一分区ガバナー歓迎晩餐会がおこなわれ、100名近いロータリアンが出席しました。歓迎アトラクションとして、女性だけの太鼓叩きによる、二本松市上川崎地区郷土芸能の「和雅美太鼓」が勇壮に会場一杯に響き渡り、歓迎会を盛り上げていました。ガバナーご夫妻も驚かれていたようです。

さて、10月24日は、「世界ポリオデー」です。世界で初めてポリオ撲滅に取りくんだのは、姉妹クラブでもある、東京麹町ロータリークラブのお二人の会員であることはよく知られています。その後、国際ロータリー財団が正式にポリオ基金を立ち上げ、今日に至っています。当クラブでは、国際奉仕委員会の本年度の活動の一環で、ポリオ基金への募金活動として、10月19日の新会員歓迎夜間例会で、ポリオプラス募金活動を行います。

皆様のご芳志は使途指定基金として各会員名義で財団へ送金されます。この企画は、財団委員会・スマイリングボックス委員会・米山記念奨学会委員会の了承のもと初めて行われます。会員の皆様のご温かいご支援をよろしくお願いいたします。

又、当日は、例会に先立ち、入会3年未満の新会員セミナーと全会員セミナーが行われます。経験豊富なロータリアンが講師ですので、多義にわたり学んで頂きたいと思っております。『入りて学び、出でて奉仕』。ロータリーの神髄です。

10月19日(水)のプログラム

- 18:00 ①開会点鐘
- ②ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ③4つのテスト
- ④来訪者紹介と会長挨拶
- ⑤クラブ臨時総会
- ⑥合同新年例会における準備委員会について
- ⑦ポリオプラス募金の報告
- ⑧会員スピーチ
- ⑨幹事報告
- ⑩各委員会報告

- 18:30 ⑪閉会点鐘
- 18:40 例会終了後 新会員歓迎会

今後のプログラム

- 10月26日(水) 猪苗代湖漂着水草回収作業参加報告
大声杯参加報告
姉妹クラブ結成5周年記念行事参加報告
会員スピーチ
- 11月2日(水) ロータリーの友よみどころ
誕生祝い
会員スピーチ(菅野和宏会員)
エコキャップ回収報告
例会終了後第6回理事会
- 11月9日(水) 移動例会 職場訪問(風の谷)
地区職業奉仕委員会セミナー報告
防火バレード参加報告

地区情報・第一分区・関連情報

- 11月3日(木) 地区職業奉仕委員会セミナー
- 11月26日(土) 地区財団委員会セミナー



ロータリーの号10月号
読みどころ
クラブ広報・雑誌委員会
藤橋 進一郎 会員

日本のオリンピックとロータリーについて
特集されております。

パキスタンにおけるロータリーのポリオ撲滅運動についての記事が掲載されています。

心はともにの中で、熊本地震と東日本大震災に関する記事が掲載されています。

わが家は一番という記事が掲載されております。新入会員の皆様には是非ともこちらの記事を見て頂きたいです。

※内容を抜粋して掲載しています。



誕生日のお祝い

- 佐藤 誠 会員 昭和2年10月12日生
- 鈴木恵美子 会員 昭和27年10月17日生
- 松崎弘昭 会員 昭和31年10月7日生
- 吾妻 学 会員 昭和41年10月31日生
- 丹治 智幸 会員 昭和46年10月26日生

橋脇 英行親睦活動委員の進行でした。



ロータリー行動規範唱和
喜古 勝弘 会員



奉仕の理想
ソングリーダー 関口 富美男 会員

AEFA 交流授業参観報告

国際奉仕委員会 吉田 和義 委員長



ラオスの高校生を飯館村に案内しますとのメールが9月30日アジア教育友好協会の宍戸仙助氏から入りました。日程を見ると10月4日(火)飯館中学校で交流授業を開催とあり会長・幹事・国際奉仕副委員長へメールを転送、急遽横山幹事と私が参観する事となりました。ラオスからは南部サラワン県ドンニヤイ村出身の女子高校生Ms. テオン・ゲオマニイ、現地初等教育部長Ms. ソムチャイ・サヤパンバ、現地NGO(ACD副代表)Ms. チャンタラ・フッタヴォンの3

が10月2日に来日、アジア教育友好協会の宍戸仙助氏、金子恵美事務局長の案内で飯館中学校へ来訪されました。飯館村とドンニヤイ村は2009年交流事業がスタート、ドンニヤイ村を訪問し飯館村の村歌紹介・飯館中学校の生徒が英訳した絵本の寄付等を行い、不十分な学習環境の中で勉強しているドンニヤイ村の子供達の為に中学校を建てる協定書を2009年に締結、震災後の2012年開校しました。2011年の震災・全村避難の影響により交流事業はストップしてしまいましたがラオスからはたくさんの応援を頂く。メッセージと祈りを込めた「復校鯉のぼり」・寄付金・飯館の小学校にはたくさんの応援メッセージが送られ、このような経緯があり交流会が開催されることとなりました。

交流授業の前、校長室で和田節子校長より飯館中学校の現況説明があり、今年度第47回「博報賞」文部科学大臣賞を受賞しましたと嬉しそうに話されたのが印象的でした。詳細は各テーブルにコピーを置いてあります。

ラオスからの来訪者とも校長室でそれぞれ紹介され話しを伺いました。ラオスのNGOからは当クラブよりの師範学校生徒への奨学金供与に対するお礼の言葉があり、二人の生徒は9月無事卒業しましたとの報告がありました。赴任先はまだ未定との事でした。その後体育館へ移動。

全校生徒88名と教職員・父兄・飯館村役場職員など多数が参加し盛大な交流会となりました。宍戸仙助氏よりラオスのメンバーが紹介された後、高校生のテオンさんが飯館村の支援で建てられたドンニヤイ村の中学校や本人の一日の行動をスライドを使いながら説明してくれました。ラオス語～英語～日本語と二人の通訳を通して生徒達に伝えました。

テオンさんは朝・夕の食事の後片付けと掃除が日課、3年前に自宅にトイレが出来たそうで、それは大変嬉しかったそうです。スライドが終わるとテオンさんはお兄さんから借りてきたスマートフォンを取り出しラオスの音楽をマイクを通して流しながら踊り始めました。飯館中学校の生徒10人位も見よう見まねで踊りに参加し賑やかな交流会になりました。飯館中学校の生徒は司会進行を担当しましたが言葉は英語だけ、しかも自ら進んで司会進行役を志願したと校長先生に後で聞かされました。最後に全員起立して飯館村村歌を合唱して交流会は盛況のうちに終了。

交流会終了後はラオスの3名とアジア友好協会の2名は飯館村の後援者(アジア友好協会)の自宅に宿泊する為、村の職員と一緒に飯館村に向かいました。

以上報告とさせていただきます。

新会員スピーチ 菅野 孝之 会員



皆さんこんにちは。只今ご紹介頂きました菅野孝之です。今回はこのような場を用意して頂き誠にありがとうございます。

私は、福島市の立子山と言う所に、1978年に生まれ、現在38歳になります。

立子山は、本当に田舎で泥だらけで毎日をすごしました。学校もクラス20数人と言う小さな学校で上下関係も無く、みんなでワイワイ遊んでいたせいで、第一印象は、馴れ馴れしい、生意気だ、礼儀知らず!などと、よく言われますので、皆様もご理解頂きながらお付き合いをして頂ければと思います。

職歴は19歳から東北自動車販売に14年間勤めさせて頂き、23歳から、販売店の店長、整備工場の管理をやってきました。そして、2年前に株式会社MAXを設立し、去年、国の許可付きの認証整備工場を設立しました。新車、中古車、輸入車、トラックの販売、買い取り、車検、整備の業務を中心に仕事をしています。

銀行の青年会の集まりにて、笠社長と知り合い、ロータリに入らないか?と声を掛けて頂きましたが、はじめは、ロータリークラブのことは、全然知らず、事務所でロータリークラブを調べて観て驚きました。海外に対する寄付や、ボランティア活動などに全力で取り組んでいる内容を見て、自分の夢を実現できる可能性があると思いました。

私は去年の10月末に長男を12歳で亡くしています。3歳の時に白血病にかかり、去年まで闘病生活をしてきました。小児がんは、親の付き添い、二重生活など、大変なことばかりでしたが、支援や、無料施設などは、一切ありませんでした。亡くなる時も本当に寂しい状況で亡くなります。

私は、どんどん会社を大きくして、最後の最後まで家族と共に過ごせる空間や、闘病中の子供達がのびのびと遊べる場所を提供出来る人間になりたいと思います。皆さんのこれからの家族にも、いつ、どこでそれが、有るかはわかりません。

だからこそ、少しでも、私の考えに共感していただければ幸いです。見た目はこんな感じですが、皆様のご指導、ご鞭撻頂ければ、全力で答えますので、よろしくお願いいたします。言い忘れましたが、趣味は海釣りですので、興味のある方はお気軽に声を掛けてください!!

福島南RC理事会トピックス

- ・当クラブが2016-2017年度「福島市内ロータリークラブ新年合同例会」のホストクラブとなり準備委員会を立ち上げ、会場監督と親睦活動委員会を主管とし全委員会の協力のもと準備に当たりました。
- ・2017年2月に家族親睦旅行を企画することとした。
- ・スマイリングボックス会計への振り替えについてロータリー財団・米山記念奨学会への退会会員寄附残高及びドル建て送金のため端数累計が¥97,782となっており、全てスマイリングボックス会計へ振り替え奉仕活動に役立てることとした。

事務局：〒960-8151 福島県福島市太平寺字通吹6-2 ザ・36・メイファイブ1F2号室 TEL025-546-3793 FAX024-545-7878

HP：http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html MAIL：f-southrotary2530@inaka.ne.jp

例会場：サンパレス福島 〒960-8101 福島県福島市上町4-30 TEL024-523-3811(代) FAX024-523-0375